

<b>Course number</b>		U-LAS06 10002 LJ41					
<b>Course title (and course title in English)</b>		法学 Jurisprudence		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, KIKUCHI KYOSUKE	
<b>Group</b>		Humanities and Social Sciences		<b>Field(Classification)</b>		Jurisprudence, Politics and Economics(Foundations)	
<b>Language of instruction</b>		Japanese		<b>Old group</b>		Group A	
<b>Number of weekly time blocks</b>		1		<b>Class style</b>		Lecture (Face-to-face course)	
<b>Year/semesters</b>		2025・First semester		<b>Number of credits</b>		2	
<b>Days and periods</b>		Tue.5		<b>Target year</b>		All students	
<b>Eligible students</b>		For all majors					
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>私たちの日常生活を取り巻いている法という仕組みに関する学問が法学である。本講義では、法の知識に触れつつも、方法や思考枠組みに重点を置く。すなわち、日本法の基本的内容を広く紹介するというよりも、法を用いて紛争解決をしていく際の作法と思考方法に焦点を合わせることで、法学（特に法解釈学）という分野の基本的な特徴を伝えることを目的とする。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<p>法学や裁判制度に関する基本的な知識を習得する。          条文を読むための作法を理解し、初歩的な条文読解能力を獲得する。          条文を解釈するための諸方法を理解し、ルールを用いて事案に解決をもたらす法的思考方法の基礎部分を身につける。</p>							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
<p>概ね以下の内容を扱うが、授業の進度に応じて時間配分等を変更することがある。</p> <p>第1回 オリエンテーション（導入的説明と授業の進め方の提示）          第2回 日本の裁判所制度          第3回 ルールに基づく紛争解決 法的三段論法          第4回 法的三段論法における「論理」と法的思考過程          第5回 法の分類と体系          第6回 条文に親しむ 呼び方・特定の仕方          第7回 解釈の基礎理論と文理解釈          第8回 法令用語と文理解釈の実践          第9回 体系的解釈          第10回 歴史的解釈          第11回 目的論的解釈          第12回 反対解釈と類推          第13回 帰結主義論法と判例解読          第14回 判例における解釈方法の析出          期末試験          第15回 フィードバック</p>							
Continue to 法学(2)							

## 法学(2)

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

内容確認のため1回または2回出題する課題の提出（30％）と定期試験（70％）により評価する。

### [Textbooks]

講義資料を配布するので、印刷するなどして閲覧できるようにすること。また、小型の六法等、条文が見られるものも適宜用意されたい。

### [References, etc.]

（References, etc.）

石山文彦 『ウォーミングアップ法学 第2版』（ナカニシヤ出版、2021年）ISBN:9784779515651

田中成明 『法学入門 第3版』（有斐閣、2023年）ISBN:9784641126404

### [Study outside of class (preparation and review)]

予習・復習に際しては、実際に条文を読むことで、法律学の言葉づかいに触れること。  
講義資料の内容を自分なりに整理するとともに、掲載する設問に取り組んでみてほしい。

### [Other information (office hours, etc.)]